

入社ノ辞

芥川龍之介

青空文庫

予よは過去二年間、海軍機関学校で英語を教へた。この二年間は、予にとつて、決して不快な二年間ではない。何故と云へば予は従来、公務の余暇よかもつを以て創作に従事し得る——或は創作の余暇を以て公務に従事し得る恩典に浴してゐたからである。

予の寡聞くわぶんを以てしても、甲教師は超人哲学の紹介を試みたが為に、文部当局の忌諱きみに触ふれたとか聞いた。乙教師は恋愛問題の創作に耽ふけつたが為に、陸軍当局の譴責けんせきを蒙かうむつたさうである。これらの諸先生に比べれば、従来予が官立学校教師として小説家を兼業する事が出来たのは、確たしかに比類稀まれなる御上おかみの御待遇として、難ありがた有がたく感銘すべきものであらう。尤もこれは甲先生や乙先生が

堂々たる本官教授だつたのに反して、予は一介の囑託教授に過ぎなかつたから、予の呼吸し得た自由の空気の如きも、実は海軍当局が予に厚かつた結果と云ふよりも、或は単に予の存在があれどもなきが如くだつた為かも知れない。が、さう解釈する事はひとり礼を昨日の上官に失するばかりでなく、予に教師の口を世話してくれた諸先生に対しても甚だ御氣の毒の至だと思ふ。だから予は外に差支へのない限り、正に海軍当局の海の如き大度量に感泣して、あの横須賀工廠の恐る可き煤煙を肺の底まで吸ひこみながら、永久に「それは犬である」の講釈を繰返して行つてもよかつたのである。

が、不幸にして二年間の経験によれば、予は教育家として、殊

に未来の海軍将校を陶鑄たうちうすべき教育家として、いくら己惚うぬぼれて見た所が、到底然るべき人物ではない。少くとも現代日本の官許教育方針を丸薬の如く服膺ふくよう出来ない点だけでも、明あきらに即刻放逐さるべき不良教師である。勿論これだけの自覚があつたにしても、一家眷属けんぞくの口が乾上る惧おそれがある以上、予は怪しげな語学の資本を運転させて、どこまでも教育家らしい店構へを張りつづける覚悟でゐた。いや、たとへ米塩べいえんの資に窮さないにしても、下手へたは下手なりに創作で押して行かうと云ふ氣が出なかつたなら、予は何時までも名誉ある海軍教授の看板かんばんを謹つつしんでぶら下さげてゐたかも知れない。しかし現在の予は、既すでに過去の予と違つて、全精力を創作に費さない限り人生に対しても又予自身に対しても、済すまな

いやうな気がしてゐるのである。それには単に時間の上から云つても、一週五日間、午前八時から午後三時まで機械の如く学校に出頭してゐる訣わけに行くものではない。そこで予は遺憾あかんながら、当局並びに同僚たる文武教官各位の愛顧そむに反いて、とうとう大阪毎日新聞へ入社する事になつた。

新聞は予に人並の給料をくれる。のみならず毎日出社すべき義務さへも強しひようとはしない。これは官等の高下をも明かにしない予にとつて、白頭はくとうと共に勅任官を賜たまはるよりは遙はるかに居心の好い位置である。この意味に於おいて、予は予自身の為に心から予の入社を祝したいと思ふ。と同時に又我帝国海軍の為にも、予の如き不良教師が部内に跡あとを絶つた事を同じく心から祝したいと思ふ。

昔の支那人は「帰らなんいぎ、田園將まさに蕪ぶせんとす」とか謡うたつた。予はまだそれほど道情を得た人間だとは思はない。が、昨さくの非を悔くい今の是ぜを悟さとつてゐる上から云へば、予も亦同じききよらい歸去来の人である。春風は既に予が草堂のきの簷のぼを吹いた。これから予も輕け燕いえんと共に、そろそろ征途へ上のぼらうと思つてゐる。

(大正八年三月)

青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四卷」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1979（昭和54）年4月10日初版第11刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007年6月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたった

のは、ボランティアの皆さんです。

入社 of 辞

芥川龍之介

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>